

# 雪の音

ゆき おと

平成25年6月15日発行 Vol.118



一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

|||||  
巻 頭 言…石川県における最近の土木情勢

石川県土木部長 鈴木 研 司 …………… 1

## 特 集…能越自動車道 七尾氷見道路

～石川県内区間で初の開通～

北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 …………… 2

## 寄 稿 文…春蘭の里の指標

石川県能登町春蘭の里実行委員会事務局長 多 田 喜一郎 …………… 6

「今、わたしたちにできること」について考える

～5年生の総合的な学習の時間を通して～

大形小学校 島田由紀子 …………… 9

## ちょっと気になるコーナー…「日本に一番近いヨーロッパ ロシア極東」

中越交通株式会社 取締役営業部長 山 崎 康 裕 …………… 11

## お 知 ら せ…平成25年度（第31回）北陸支部通常総会

事務局 …………… 13

## 独占禁止法等コンプライアンスに関する講習会

独占禁止法の遵守に関する特別部会 …………… 15

「建設コンサルタント協会北陸支部 業務・研究発表会」の選考結果  
について …………… 17「建設コンサルタント協会北陸支部 業務・研究発表会」について  
(ご案内) …………… 18

「第1回 北陸橋梁保全会議」の開催（お知らせ） …………… 19

## 支部活動報告

事務局 …………… 20

## 会 員 名 簿

各部会・委員会委員名簿

事務局 …………… 33

## 編 集 後 記

齋 藤 浩 幸

題 字 元北陸地方建設局長

廣瀬 利雄 揮毫

表紙写真 越後丘陵公園バラフェアー

撮 影 地 新潟県長岡市

撮 影 者 猪俣 孝之  
|||||



## 石川県における最近の土木情勢

石川県土木部長

**鈴木 研 司**

本県の公共投資は、デフレの長期化等による経済の低迷や厳しい財政状況によって縮減を余儀なくされておりましたが、今年度予算においては国の大型補正予算を最大限に活用し、平成25年度当初予算と平成24年度補正予算を一体的に編成することで、公共投資としては平成に入って最大の伸びとなる対前年度比1.4倍を確保したところであります。特に、県下一円にわたる舗装補修や河川の堆積土砂の除去などのきめ細かい事業の確保に格別の配慮を行うと共に、2年後に迫った平成26年度末の北陸新幹線金沢開業に向け、その効果を最大限に引き出し、県内全域に波及させるための取り組みを加速させていくこととしております。

交流基盤の整備促進として、新幹線等で本県を訪れる方々の県内各地への移動には道路が重要な役割を担うことから、本県の幹線道路の整備方針である「ダブルラダー結いの道」整備構想に基づき、平成26年度には能越自動車道七尾氷見道路の全線供用や金沢外環状道路海側幹線における2車線区間の4車線化など完成させることとしております。また、金沢と能登を結ぶ能登有料道路については、「ふるさと紀行『のと里山海道』」に名称を変更して今年3月31日に無料としたところであり、同時に「川北大橋有料道路」と「田鶴浜道路」についても無料といたしました。特に「のと里山海道」については、有料時の約2倍の交通量となっており、北陸新幹線の金沢開業によって更なる交通量の増加が見込まれることから、平成26年度には白尾IC以南の4車線化を完成させることとしております。

また、受け地の魅力向上対策として、金沢城公園の整備や主要観光地等における無電柱化などを進めております。兼六園と並び金沢都心部の観光資源の中核である金沢城公園については、平成27年春の金沢城三御門完成を目指し、今年度「石川門」の保存修復を終えると共に、残る「橋爪門」の復元整備を推進することとしております。さらに、金沢城公園の魅力を一層向上させるため、今年度から「玉泉院丸跡」の整備に着手しております。「玉泉院丸跡」は、石垣と池泉とが一体となった高低差22mという立体的で他には類を見ない城郭庭園であり、平成27年春に暫定開園することとしております。

加えて、魅力ある石川の景観の保全と創出を図るため、金沢市内の歴史・文化的地区や和倉温泉、片山津温泉などの温泉街をはじめとした主要観光地において、無電柱化による美しい街並み景観の形成を重点的に進めるなど、全国各地から訪れる方々に本県の魅力を存分に堪能して頂けるよう、「おもてなし」の準備を着実に進めていくこととしております。

最後に、今年度予算では、安全安心の確保の観点から、また、社会資本を良好な状態で次世代に引き継ぐ観点から道路施設や港湾施設、河川管理施設等の老朽化対策費を大幅に増額しました。高度経済成長期に集中的に整備された社会資本が今後急速に老朽化することから、その対策は益々重要になります。建設コンサルタンツ協会の会員の皆様方におかれましても、県民生活を支える社会資本整備の一翼を担っていることから、その技術力の一層の研鑽に期待いたしますと共に、当協会の益々のご発展を祈念申し上げます。



## 能越自動車道 七尾氷見道路 ～石川県内区間で初の開通～

北陸地方整備局  
金沢河川国道事務所

### 1. はじめに

平成25年3月24日、一般国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路のうち、七尾城山ＩＣ～七尾大泊ＩＣ間（延長9.3km）が、七尾氷見道路として、石川県内区間で初めての開通となりました。

本稿では、能越自動車道および七尾氷見道路の概要、工事や開通の状況、整備効果等についてご紹介します。

### 2. 能越自動車道、七尾氷見道路の概要

能越自動車道は、北陸自動車道や東海北陸自動車道との連結により能登地域と三大都市圏との交流を深め、能登地域の産業・経済・文化の発展等に大きく寄与するとともに、災害時の緊急輸送路としての役割も担う重要な高規格幹線道路です。

これまでに、石川県内の能登空港ＩＣから田鶴浜ＩＣ（のと里山海道の重用区間を含む）までの約38kmと、富山県内の終点である小矢部砺波ＪＣＴまでの約38kmが開通しています。

その一部を構成する七尾氷見道路は、石川県七尾市（七尾ＩＣ（仮称））から富山県氷見市（氷見ＩＣ）までの全長28.1kmの道路です。

平成8年度に事業着手し、平成10年度から11年度にかけて都市計画決定がなされ、石川県内では、平成13年度に用地買収に着手、平成17年度に工事に着手しています。

また、平成17年度には、早期に整備の効果を発現させるため、当時整備中であった七尾トンネルの工事用道路をアクセス道路として活用し、七尾城山ＩＣを追加設置することを決定しました。

富山県側では、平成24年3月までに灘浦ＩＣ～氷見ＩＣ間が供用しています。



位置図



七尾城山ＩＣより七尾大泊ＩＣ方面を望む



位置図（拡大図）

### 3. 工事の状況

七尾氷見道路は、能登半島の丘陵地を通過するため、構造物（橋梁・トンネル）の比率が大きいことが特徴です。今回開通した七尾城山IC～七尾大泊IC間（9.3km）のうち、橋梁区間は約2割（約1.5km）、トンネル区間は約3割（約2.8km）を占め、残りの約5割（約5.0km）が土工区間となっています。

#### ■ 橋梁区間（全10橋、総延長約1.5km）

橋梁では、架橋位置の地形や地質の条件等によって、様々な橋種や架設工法を採用しました。

全10橋のうち、最長（ $L=455\text{m}$ ）の熊淵川橋は、沿岸部に位置するため、塩害に対する耐久性に優れたコンクリート形式を採用しました。また、周辺の田園風景や富山湾、立山連邦の眺望を保全するためのデザインを採用するなど、景観面にも配慮しています。

麻生第二高架橋（ $L=86\text{m}$ ）は、急峻な谷（標高差約30m）地形に架かるためアーチ橋形式を採用し、架設にはメラン材と呼ばれる鋼部材を用いるメラン工法を採用しました。



熊淵川橋の全景



麻生第二高架橋の全景



麻生第二高架橋 メラン材の架橋状況

#### ■ トンネル区間（全4本、総延長約2.8km）

全てのトンネルにおいて、地山の強度を積極的に活用するナトム工法（NATM）を採用しました。また、照明施設には、消費電力の低減と長寿命化によりトータルコストを削減するため、LEDによるトンネル照明を採用しています。

4本あるトンネルのうち、最長（ $L=1,760\text{m}$ ）となる七尾トンネルでは、砂岩の風化等により地山が脆弱であり、地すべり活動の活発化が懸念されたため、トンネル天端部の肌落ちや地山の剥落を防止するためのフォアポーリング等、様々な補助工法を用いて施工しました。



七尾トンネル  
貫通式のようす



トンネル内照明  
（LED）の点灯状況



## ■ 土工区間（総延長約5.0km）

土工区間では、2007年の能登半島沖地震後に設けられた「石川県内の盛土に関する検討委員会」からの助言を得ながら、盛土の安定性向上に向けた工法を検討しました。

具体的には、法面へのアンカー付法枠工や盛土内での水平ドレーンの設置により安定性向上を図り、盛土材については、酸性土壌を中和する効果がある地元七尾市の「中島産牡蠣」の貝殻を使用した資材や、七尾火力発電所における廃材（フライアッシュ）などの地域固有の資源を活用し、土質改良を行いました。



中島産牡蠣貝殻を使用した資材の法面吹付け



フライアッシュ

## ■ 住民参加

工事進行中には、事業に対する理解を深めて頂くため、現場付近の地域住民の方や学生の皆様などを対象に、日頃はあまり見る機会のない工事現場の見学会等を合計100回以上開催し、延べ3千人以上の方に参加頂きました。



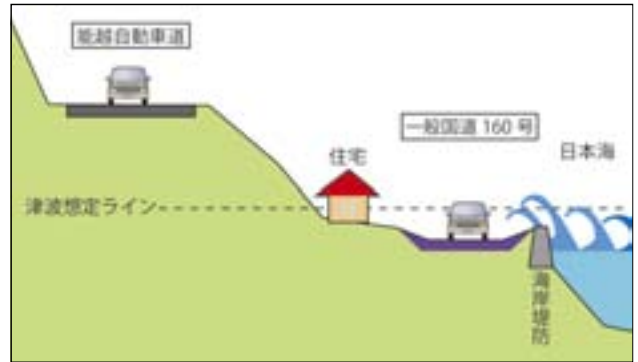
小学生による橋梁床板へのお絵かき会

## 4. 七尾氷見道路の整備効果

### ■ 災害に強い代替路線の形成

七尾氷見道路に並行する一般国道160号では、連続雨量や越波による通行規制が発生（年平均約2回）し、そのたびに交通が遮断されていました。

七尾氷見道路の開通で、より安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されます。



七尾氷見道路と一般国道160号並行区間の断面模式図



一般国道160号における越波

### ■ 救急医療への貢献

七尾氷見道路の開通により、七尾大泊IC周辺の地区では、第三次救急医療機関（公立能登総合病院）までのアクセス時間の短縮が約11分見込まれるなど、救急医療施設のカバーエリアの拡大が期待されます。

### ■ 並行路線の安全な走行環境の確保

七尾氷見道路に並行する一般国道160号では交通事故が多発しており、七尾氷見道路の開通により、一般国道160号の交通が七尾氷見道路に転換し、一般国道160号の交通量が減少することで、死傷事故件数の削減が期待できます。

### ■ 物流効率化への貢献

七尾氷見道路の開通により、エネルギー確保や木材等流通の拠点である重要港湾「七尾港」をはじめとした物流の効率化や地域経済の活性化が期待されます。

### ■ 観光地へのアクセス性向上

能登地域は、祭りや伝統工芸等の文化や温泉等の観光資源に恵まれ、さらに、平成23年には世界農業遺産「能登の里山里海」に認定されたことで、国内だけでなく世界からも多くの注目を集めています。

七尾氷見道路の開通により、富山方面から能登方面の観光地へのアクセス性が向上し、無料化された「のと里山海道」との連携で、より一層の観光客数の増加と地域活性化への寄与が期待されます。



和倉温泉（七尾市）



青柏祭（七尾市）

## 5. 開通

開通に先立ち、今回の開通区間(L=9.3km)をウォーキングするプレイベントが行われました。好天のなか、石川・富山両県から親子連れなど約330人が参加し、富山湾や付近の家並みを眺めながらウォーキングを楽しみました。

また、平成25年3月24日の開通日には、地元園児による風船放天の他、化学車や高規格救急自動車のパレードなど、今回の開通を祝いました。



プレイベント（ウォーキング）のようす



開通式典のようす



## 6. 開通後の状況

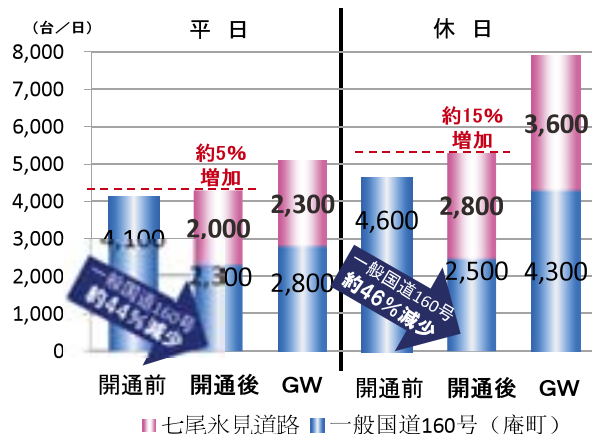
### ■交通量の変化

七尾城山IC～七尾大泊IC間の開通後の調査では、開通区間における交通量は、平日約2,000台/日、休日は約2,800台/日となっています。

七尾氷見道路に並行する一般国道160号の交通量は、平日で約44%、休日で約46%と大幅に減少し、七尾氷見道路と一般国道160号を合わせた交通量は、七尾氷

見道路開通前の一般国道160号の交通量に比べ、平日で約5%、休日で約15%増加しました。

七尾氷見道路の開通によって、一般国道160号の交通量が七尾氷見道路へ転換したことがわかりました。



|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| ●開通前 | 平日：平成25年3月11日～15日の平均日交通量         |
|      | 休日：平成25年3月9,10,16,17日の平均日交通量     |
| ●開通後 | 平日：平成25年4月15日～19日の平均日交通量         |
|      | 休日：平成25年4月13,14,20,21日の平均日交通量    |
| ●GW  | 平日：平成25年4月30日,5月1日～2日の平均日交通量     |
|      | 休日：平成25年4月27日～29日,5月3日～6日の平均日交通量 |

七尾氷見道路および一般国道160号の交通量の変化

### ■地域の方からの声

今回の開通後、以下のようなご意見を頂いています。

「ずいぶんと時間短縮が図られて、氷見、高岡が身近に感じられるようになりました。早く全面開通してほしい」（総合病院の方）

「七尾消防署から大泊間で、災害時の出動時間短縮が図れるようになりました」（消防本部の方）

「七尾市内から通勤しており、3月に開通した能越道を利用させてもらっている。朝の通勤時間が国道160号を通るより約5分から10分短縮したかな、と感じる」（地域住民の方）

## 7. おわりに

今後、能越自動車道 七尾氷見道路は、平成26年度の全線開通を目指し、残る2区間（七尾IC（仮称）～七尾城山IC、七尾大泊IC～灘浦IC）の整備を進めて参ります。七尾氷見道路の全線開通で、その効果をより一層発揮し、地域の発展に貢献できることを願っています。

## 春蘭の里の指標

石川県能登町春蘭の里実行委員会事務局長 多田 喜一郎

どこの都会でも見られる風景、それは賑わいの風景であります。子供から高齢者までが街にあふれている風景であります。しかし、今農村には若者がいなく、子供がいなく、赤ん坊の泣き声が聞こえず、行き着く所が廃校、統合限界集落ということなのです。これで本当にいいのだろうか？何かがおかしいと感じるのは、私たち春蘭の里の住人だけなのでしょうか。



景観

戦後のあゆみの中で経済大国3位になった日本、企業に多くの優秀な人材を提供した農村地域、上野駅に着く就職列車を思い出し、歌手・井沢八郎の「ああ上野駅」を思い出す人も多いだろう。「どこかに故郷の香りをのせて…」の歌声です。歌われた故郷の香りとは、手入れされた田んぼ、山林、畑に小川などの田舎の原風景なのです。荒廃した農地、山林、畑や小川などの故郷を、田舎の原風景と感じ取ってもらえないでしょう。

その故郷の香りを守りたい、それが春蘭の里の実行委員会が立ち上った原点であります。私たちの村が、これから10年立ったらどうなるかの思いで7人のメンバーが立ち上り、地域再生を目指したのです。

### 皆で決めた事は

- ①集落全体をまとめるのではなく、好者同士、賛成してくれる者同士でやろう。そうしないと物事に早い決定権ができず、色々なタイミングを逃してしまう。(つまり行政との情報交換がうまくできない。)
- ②行政に頼らない地域づくり。しかし行政が応援したくなるような地域づくりにしよう。
- ③先祖代々から引きついでいる昔ながらの家を農家民宿として、月40万円の収入をあげ、若者が戻って来られるようなシステム作りを元気な高齢者のいるうちに作ろう。
- ④物事をプラス指向で考えよう。駄目だったらどうしようというマイナス指向はやめよう。マイナス指向は何もいい結果が出ない。
- ⑤地域のことは地域ですべてやりぬきたい…との思いを持つ…ことにしよう。



会談



私たちの、今の目標は日本一の美しい村づくりです。若者や子供がいて、老人がやさしく微笑み、美しい絵本に出て来る様な地域の原風景を取り戻すことです。まさに世界農業遺産に認定された中のひとつのスポット地域・春蘭の里づくりであります。黒い瓦に白い壁の家並みがある地域です。言うまでもなく世界農業遺産認定とは、先進国では当然廃れてしまっただろう自然、家並み、文化、伝統、風習、伝説などが現代まで残っていることに対する評価なのであります。

春蘭の里はそんなものが残っていました。名古屋でのコップテン2010の石川エクスカージョンの春蘭の里での会議で、17ヶ国の人々74%から春蘭の里が良かったとの評価が得られました。何もないと思っている地域は本当に何もないのだろうか？いや、今こそ昔のままのありのままが世界から評価を頂いた瞬間であり、今なら再生可能な地域なのであります。そして、このような取組に強力な応援団ができました、それは金沢市に住む私達春蘭の里出身者の地域応援団であり、定年者を中心に地域に対する思いやりの精神で、力になっていただいています。



田植え 1

これからは、是非とも都会に住む人々もプラス指向に物事をとらえていただき、ご自身が思い思いの故郷整備を考えていただけたら幸いです。また、地方出身者や企業の皆様にも故郷再生、ふるさと回帰をお願い出来たら素晴らしいと思います。年に何回か故郷を応援して頂きたいし、ご家族や子供を連れ、またグループで、会社として、ご協力をいただけると心強い限りです。



田植え 2



田植え 3



稲刈り



餅つき

## 春蘭の里のあゆみ

- 平成8年 メンバー7名で結成
- 平成9年 春蘭の宿開業  
 民宿開業は、当初農産物の販売で一億円を目指したがうまくいかず、お客さんに来て貰って民宿に宿泊し、地域の農産物を食べてもらい、集落活性化と利益をあげる方向に転換
- 平成15年 石川グリーンツーリズム推進特区に認定  
 これにより民宿4軒増設
- 平成18年 廃校の宮地小学校が宮地交流宿泊所「コブシ」として完成
- 平成19年 第一回全国半島振興フォーラム全国大会開催  
 農家民宿 10軒増設
- 平成20年 農家民宿 15軒増設
- 平成22年 台湾から若者のカップル移住  
 台湾と春蘭の里との観光ルートの開発
- 平成22年 農家民宿 10軒増設  
 中日農業賞特別賞
- 平成23年 第50回農林水産祭むらづくり部門優秀賞  
 国土交通大臣賞  
 農林水産大臣賞  
 内閣総理大臣賞
- 平成24年 毎日農業記録賞  
 地域再生大賞

総務大臣賞  
 農林水産大臣賞  
 石川地域づくり大賞知事賞

平成22年より中国修学旅行受け入れ、国内修学旅行受け入れ

平成24年 中国、台湾7団体、日本4団体の受け入れ



祭り



キノコ採り

そして地域は県内初の景観形成重点地区に認定され、黒瓦白壁の家並みの保存制度の創設、また北能産業という地域の建設業者の方が春蘭の里の景観保全のため、荒廃した水田の復元を申し出ていただき、30haもの地域の荒廃水田が見事に美田によりがえりました。

在りし日の景観に近づき、年間8000人の人々が訪れる春蘭の里なのであります。これから目指すは日本一の春蘭の里であります。



## 「今、わたしたちにできること」について考える ～5年生の総合的な学習の時間を通して～

大形小学校 島田 由紀子

### 〇はじめに

昨年度、5年生は総合的な学習の時間に一つに「今、わたしたちにできること『環境』」というテーマを選び、学習を進めました。その活動の一環として「建設コンサルタント協会 北陸支部」の皆さんから、出前授業においていただきました。事前に、学習させたい内容についての打ち合わせをし、「身近なところから『環境』について考えてみよう」という内容の授業を行ってもらい、環境学習の導入としました。

大形小学校が、この出前講座をお願いするのは2回目です。1昨年度の講演が児童にも分かりやすく導入として良かったという話を聞き、是非もう一度ということで昨年度も依頼しました。

この講演をきっかけにその後児童がどのような活動を行っていったのかを簡単に記させていただきます。

総合的な学習の時間 5年  
「今、わたしたちにできること」

### 1. 調べたいことを見付けよう

身の回りの環境について興味をもたせたり、問題意識をもたせたりするために、まず、2つの講演会を計画しました。

1つめが、「建設コンサルタント協会 北陸支部」の皆さんからおいでいただいた出前授業です。

この授業では、水のよごれについて生態系に与える影響を知り、パックテストによる水質実験を行いました。試薬の色の変化に驚きながら楽しく水質検査を行いました。



「水の汚れを測定し、数値で表すことができるんだ」

また、通船川を例に挙げての川の水の汚れや、温室効果ガスや地球温暖化などについても話していただきました。

2つめは、新潟県消費者協会「環境に優しい生活」の「新潟気軽に省エネくらぶ」の方からの出前講座でした。「エネルギーのことを考える」「3Rで十分ですか？」というテーマで話していただきました。



「『エコバックをもって買い物に行く』はどれかな？」



この授業では、エネルギーの種類について知ったり、手で電気を起こして活動を通して、白熱電球とLEDの明かりを付けるために必要なエネルギー量の違いに気付いたりしました。また、3Rにとどまらず、よりエコな5Rについても話してもらいました。

この2つの出前授業をきっかけに、子どもたちが環境について問題意識を持ち、調べたい課題を出し合いました。

## 2. 調べたいことを決めよう

子どもたちが調べてみたいと考えたことを大きく分けると「エネルギー」「川の水の汚れ」「5Rとエコ」「家電と節電」「生態系の破壊」「地球温暖化とCO<sub>2</sub>」の6つになりました。同じテーマごとに4、5人のグループを作り、調べたいことを出し合いテーマを絞りました。

## 3. 友達と協力しながら調べよう

エネルギーや、生態系の破壊による絶滅危惧種、家電の電力消費量などについてはインターネットで情報や資料を集めました。また、図書資料を使って水の汚れやリサイクル等について調べたり、学校の電気使用量の季節や月による違いに目を付けたグループは教務室に行き、学校の月別の電力使用量の資料をもらいに行ったりしました。

## 4. 分かったことや考えたことをまとめよう

今回は、調べたことをコンピュータの子ども向けプレゼンソフト「発表名人」を使ってまとめました。調べてわかったことをもとに、「わたしたちにできること」を考えました。調べたことをわかりやすく伝えたいと、クイズ形式にしたり、アニメーション効果を使ったりいしてまとめたグループもありました。

## 5. 調べたことを伝えよう、できることを広げよう

発表会はワークショップ形式で行いました。最初

にテーマ別グループ内で発表会を行い、発表の仕方などをアドバイスしました。その後、2回の発表会を行い、2回目は授業参観時の実施とし、保護者の方にも発表しました。最後に、友達の発表を聞いて分かったことや考えたことを文章に記し、まとめました。



「家電による消費電力の違いは次の通りです。」

## ○終わりに

子どもたちが考えた「今、わたしたちにできること」は、「川の水を汚さないためにもお皿に汚れを残さないこと」や「教室から出るときは電気を消すこと」などのほんの小さなことでした。しかし、今まで知らなかった事を知り、環境問題に関心をもつことができ、行動に移そうとしたことが一つの成果だと思います。そのきっかけ作りとなった出前講座を行っていただいたことに深く感謝いたします。

# 「日本に一番近いヨーロッパ ロシア極東」

中越交通株式会社 取締役営業部長 山崎 康裕

以前ご案内した事の有る「ロシア極東」を最新情報を交えてご案内します。

### 【世界最長の斜張橋】

世界一長い橋は、ご存知ですか？ギネスブックによりますと陸橋、水上橋の区別なしの場合、中国にある「丹陽－昆山特大橋」が1番だそうです。上海と南京の間に敷かれた高速鉄道の橋で164.8kmあり、途中には、湖を渡る場所があり、長さも9kmあるそうです。

2番目も中国の天津特大橋で113.7km、3番目も中国で渭南渭河特大橋の79.7kmあるそうです。中国の橋は、「長さベスト10」に7橋入っています。また、連続して水上に架かる世界最長は、アメリカのポンチャートレイン湖コーズウェイ（38.4km）となりますし、世界最長の吊り橋ですと日本の明石海峡大橋（3.9km）となります。



ルースキー島連絡橋の夜景



工事中の主塔

昨年ウラジオストックで開通したルースキー島連絡橋は、斜張橋として世界一となりました。橋の種類に関しましては、皆様がよくご存知だと思いますが海峡

を跨ぐ主塔（高さ324m）の間隔が1,104m 有る斜張橋です。一見の価値があるそうです。

### 【ヨーロッパへの入り口 極東】

極東と言われるウラジオストック、ハバロフスクには、以前は新潟空港からの直行便がありましたが現在は休止中で成田空港が唯一の窓口です。また、毎日運行していませんし、運休もありますのでご注意ください。新潟空港から1時間30分でウラジオストックに行けましたが現在では、新幹線などを乗り継ぎ成田空港へ行かなければなりません。国内移動の時間が有ればウラジオストックに到着して食事をしている時間です。本当に一番近い海外でした。残念な事です。

しかし、朗報があります。7月の下旬から8月中旬までの間で7本のチャーター便が新潟空港からハバロフスクやウラジオストックへ運行致します。

### 【ウラジオストック】

ウラジオストックは、金角湾沿いに建物が集まり、こじんまりした町のため徒歩で観光できる場所です。シベリア鉄道の始発駅のウラジオストック駅前広場からすぐのスヴェトランスカヤ通りがメインストリートでデパートや専門店があり、ショッピングにおすすめの場所です。また、フォーキナー通り沿いには、花壇と噴水が配置され、ヨー



駅舎



スヴェトランスカヤ通り

ロップ調の建築が優雅な雰囲気を作っています。その他にも中央広場、アルセーニエフ博物館、C56潜水艦博物館、要塞など1日かけて徒歩で散策は如何でしょうか？

先ほどご紹介したルースキー島連絡橋へは、現地のオプションツアーで参加されると便利です。

### 【ハバロフスク】

アムール川沿いに開けた街でヨーロッパ調の建物が多く、アムールスキー通り（メインストリート）の繁華街、国立極東博物館、ブラジェンスキー大聖堂、アムール川鉄橋歴史博物館、アムール川クルーズなどお楽しみ下さい。ロシアのお土産のマトリョーシカの絵付け体験なども出来ます。こちらも徒歩での散策がお勧めです。



ハバロフスク橋



ブラジェンスキー大聖堂（世界遺産）



ハバロフスク旧議会ビル（1909年）

### 【お勧ツアー】

新潟空港発着チャーター便 ウラジオストック・ハバロフスク 4日間

- 1日目 午後 新潟空港——（2時間）——ハバロフスク空港＝ホテル（泊）
- 2日目 自由行動 夜 ハバロフスク駅(21:00発) +++ シベリア鉄道 +++ 鉄道（泊）
- 3日目 +++ (08:00) ウラジオストック駅 自由行動 ホテル（泊）
- 4日目 自由行動 夕刻 ウラジオストック空港——（1時間30分）——新潟空港

期 間 8月10日(土)～13日(火) 費用144,800円

上記の内容で自由行動の際は、徒歩で散策やオプションツアーに参加出来ます。食事は、朝食が2回だけですが街中で食事を楽しんで下さい。

食事をするならロシア名物の「ボルシチ（野菜スープ）」、「ペリメニ（水餃子みたいなもの）」、「ウハー（野菜と魚のスープ）」などが有名ですが、本場の「ビーフストロガノフ（牛肉ときのこの煮込み）」は、最高の味です。

この他にも「5日間コース」や「イルクーツク（バイカル湖）・ウラジオ8日間」のコースもあります。8月のロシア極東の平均最高気温は、22～24度程度です。暑い日本から離れて日本に1番近いヨーロッパへ行って見てはいかがでしょうか。

チャーター便に関しては、お問合せ下さい。

中越交通(株) TEL0256-39-6009

\*ロシアは、査証（VISA）が必要です。パスポートの残存期間も6ヶ月以上必要です。





## 平成25年度（第31回） 北陸支部通常総会

### 事務局

去る平成25年4月25日(木)ホテルイタリヤ軒において、平成25年度通常総会が開催されました。

総会は、出席会員の確認を行い、総会成立宣言に続き寺本支部長の挨拶がありました。



寺本支部長の挨拶

その後、議長より、議事録署名人が委嘱され議事に入りました。

#### 議事録署名人

株式会社 建設環境研究所  
新潟支店長 難波 政行 様  
株式会社 東京建設コンサルタント  
北陸支社長 矢田 弘 様

議事の審議は以下のとおりで、原案どおり承認されました。

- 第1号議案 平成24年度事業報告（案）
- 第2号議案 平成24年度収入支出決算報告（案）  
監査報告
- 第3号議案 平成25年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成25年度収入支出予算（案）
- 第5号議案 細則の改定（案）
- 第6号議案 役員選任



新役員

#### 北陸支部 役員名簿

|       |         |               |
|-------|---------|---------------|
| 支部長   | 寺 本 邦 一 | 開発技建(株)       |
| 副支部長  | 新 家 久 司 | (株)国土開発センター   |
| 副支部長  | 吉 田 攻   | (株)大日本コンサルタント |
| 副支部長  | 小野塚 眞 一 | (株)キタック       |
| 顧問    | 藤 卷 俊 二 | 開発技建(株)       |
| 運営委員長 | 高 田 一 博 | 開発技建(株)       |
| 運営委員  | 金 子 慶 一 | (株)国土開発センター   |
| 運営委員  | 大 平 豊   | エヌシーイー(株)     |
| 運営委員  | 涌 井 正 樹 | (株)キタック       |
| 運営委員  | 瀬 川 光太郎 | (株)建成コンサルタント  |
| 運営委員  | 大 川 重 雄 | (株)建設技術研究所    |
| 運営委員  | 黒 木 康 生 | (株)日本海コンサルタント |
| 支部監事  | 山 本 宏 司 | (株)構造技研新潟     |
| 支部監事  | 高 堂 景 寿 | 相互技術(株)       |

総会後、講演会を開催いたしました。講演の内容は以下のとおりです。

講師 芝浦工業大学 MOT 客員教授

谷 口 博 昭 氏 (国土交通省事務次官)

演題 「これからのインフラと建設ビジネス」



講演する谷口講師

#### 講師略歴

1972年 東京大学工学部（土木）卒業  
1988年 建設省中部地方建設局沼津工事事務所長  
1990年 同 中部地方建設局企画部企画調査官  
1991年 同 大臣官房技術調査官  
1995年 同 道路局国道課道路整備調整室長  
国土庁計画・調整局調整課長  
1998年 同 道路局高速道路課長  
1999年 同 道路局企画課長  
2001年 国土交通省 道路局企画課長  
2002年 同 近畿地方整備局長  
2004年 同 道路局長  
2006年 同 技監  
2009年 国土交通事務次官  
2009年 日本大学客員教授  
2010年 東洋大学経済学研究科大学客員教授  
2011年 現職

#### 著書・論文

『産学官パートナーシップで新世紀のインフラ整備・管理を』（土木学会、第40回論説）『公民連携白書2010－2011』（共著、時事通信出版局2010）『関西を創造する』（共著、和泉書院、2008）『地域連携がまち、くを変えて－21世紀をひらく地域からの挑戦－』（共著、小学館、1998）他

講演は、21世紀の我が国の“BIGPICTURE”について解説していただき、中長期的な視野を持って大きな絵を描くことが日本の再生につながると力強く語り、会員企業及び行政機関の幹部職員が注目しました。

谷口氏は将来への大きな着想を得るには、「どうなるかではなく、どうするかを考えるべき」とし、現場や地域、チームなどの各能力を生かすトップマネジメント、リーダーシップが求められるとともに、オープンな議論による情報共有などの必要性を指摘。

国土強靱化については、公共事業というハードだけで脆弱な国土を災害から救えるわけではない。文化振興などのソフト面での取り組みを合わせながら、国民の生命・財産を守らなければならない。また、建設産業構造については、労務単価と落札率の関係に触れ、効果が薄いケースもあるとのこと。さまざまな制度改革等により、業界全体で適正な利益を確保できる取り組みを維持していく必要があると述べた。発注者に対しては、現状を好機ととらえ、新たな契約制度に取り組んでほしいと訴えた。さらに、道の駅や日本風景街道、CMを活用した復興まちづくりモデル事業、海外展開などを紹介し、技術の伝え方や、諦めずにやり抜くことの重要性を述べ、参加者の注目を集めた。



# 独占禁止法等コンプライアンスに関する講習会

## 独占禁止法の遵守に関する特別部会

日時：平成25年2月6日

場所：興和ビル 10F 第5会議室  
新潟市中央区新光町6-1

講師：

「請負契約における双務性の向上について」

（一社）建設コンサルタンツ協会 北陸支部  
副支部長 小野塚 眞一

「職場活性化のためのコミュニケーション」

（株）よしもとコミュニケーションズ  
代表取締役 吉友 嘉久子 氏

「社内講習向け資料の要旨及びポイントの説明」

（一社）建設コンサルタンツ協会 北陸支部  
独禁法に関する委員会 実行委員会  
委員 西潟 常夫

平成24年度の北陸支部「独占禁止法等コンプライアンス」に関する講習会は、会員各社から約70名の参加で開催されました。

今回は、講習テーマを三題とし、建設コンサルタンツ協会 北陸支部副支部長 小野塚 眞一氏、株式会社よしもとコミュニケーションズ 代表取締役 吉本嘉久子氏、建設コンサルタンツ協会 北陸支部 独禁法に関する委員会 西潟常夫委員から、約4時間の講習会となりました。概要は以下の通りです。

### 1. 「請負契約における双務性の向上について」

受注者側から見る片務性の事例の紹介がおこなわれました。



#### ① 設計変更に関すること

- ・発注者側からの一方的な理由、理屈（委託内容の範疇等）で変更増が認められない事例

#### ② 見積りの値切りに関すること

- ・予算がない、感覚的に見積り額が高い、随意契約の範囲内でやりたい、などの理由で見積りの折り合いがつかない事例

#### ③ 実態にそぐわない積算に関すること

- ・コンサル業務と簡易設計業務を混在させた業務例
- ・設計協議回数の不足例や概略設計歩掛で詳細設計レベルまで仕上げた例
- ・設計に必要な地下埋設物確認の試掘作業を、実態にそぐわない大型機械使用での積算例

#### ④ 設計条件に関すること

- ・設計条件が業務着手時に決まっていなかったり、発注者担当、課長代理、課長とで設計条件が変わる例
- ・他官庁協議や本庁協議の結果、設計条件が変わりやり直し手間が増えた事例

#### ⑤ 工期の設定に関すること

- ・年度後半の発注物件は、3月末納期とされ、適正な工期が確保されない事例や繰越手続きが煩わしく理由で、工期変更しない事例

#### ⑥ 成果品納入後、工事着手時における修正設計に関すること



- ・工事着手段階で、修正設計が求められることや修正分をサービス業務としてとらえる例

このほか、新潟県土木部技術管理課から建設コンサルタント協会北陸支部各社への片務性アンケート調査結果の報告（実例説明）が行われました。

## 2. 「職場活性化のためのコミュニケーションズ」

株式会社よしもとコミュニケーションズ 代表取締役 吉本嘉久子氏より協会会員の意識改革、体質改善並びに社内相談体制の充実をはかるための講演が行われました。

対人対応力が仕事エネルギーをつくるということで、コミュニケーションのキャッチボール（話す・聞く）がお互いをわかりあい、良好な人間関係が仕事の意欲を高めるとの話がありました。

また、傾聴行動の実践ということで、講習会の中にロールプレイングも取り入れた講習でした。



## ④ 話はかたちで聴くことが重要

などを主眼に置きながら、講習会参加者全員が、約30分ほどのロールプレイングを行いました。

この講習は、ITの進歩でともすればコミュニケーション不足になりがちなことを再認識するとともに対人関係の向上の観点からも意味のある講習でした。

## 3. 「社内講習向け資料の要旨及びポイントの説明」

建設コンサルタント協会 独禁法に関する委員会実行委員会が作成した「独占禁止法等、関連諸法規の概要とQ & A」の社内講習会に向けた、活用方法と注意点等の説明が行われました。



今回、外部の講師による独占禁止法令についての講習会ではありませんでしたが、独占禁止法や下請法などの法令遵守の再確認と各社内で継続した意識徹底が必要であることなどが説明されました。

最後に、アンケート調査のご協力ありがとうございました。次回の講演会の参考にさせていただきます。

- ① 相手と目を合わせて、同調姿勢をもつ
- ② 相手をそのまま受け入れる気持ちをもつ
- ③ 相手に関心を持続ける

# 「建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」 の選考結果について

拝啓 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より建設コンサルタンツ協会北陸支部に対しご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」に応募いただいた「論文の概要」について、北陸支部選考委員会において厳正なる審査を実施し、8編を選考しましたのでここにお知らせいたします。

なお、業務多忙の中にも関わらず、会員会社の皆様からは多大なご協力をいただき、大変有り難うございました。

敬具

## 記

1. 募集期間 平成25年3月15日～同年5月31日

2. 応募数 21編

3. 審査員 北陸支部選考委員会（以下のメンバーで構成）

・北陸支部業務・研究発表会WG

高橋邦夫（WG長）、首藤直樹、寺田直樹、竹内聡、桐沢芳広

・技術部会長 横山徹成

4. 選考結果

以下の8編に決定しました。

| テーマ                                 | 発表者                                                            | 専門技術部門          |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------|
| 動的X-FEMを用いた地震時残留変形解析手法の開発とその応用      | 五大開発(株) 技術研究所<br>新保泰輝・鱈洋一・高森秀次                                 | 土質及び基礎          |
| 既設橋の耐震補強設計手法について                    | 開発技建(株) 構造部<br>本間進・関塚真・奥原広明・阿部元英                               | 鋼構造及び<br>コンクリート |
| 冬期路面情報の道路利用者への試験配信                  | (株)アルゴス 雪氷技術センター<br>渡辺伸一・春山哲也・田中篤彦                             | 道路              |
| プローブカーを用いた走行速度抑制対策箇所の抽出と対策の設計       | (株)キタック 技術第二部道路グループ<br>森将恒・相田守・原田亘                             | 道路              |
| 金沢市公共レンタサイクル「まちのり」の特徴と新たなまちづくりの取り組み | (株)日本海コンサルタント 社会事業部計画研究室<br>片岸将広・柳瀬邦治・井上雅・菊本高嗣・須田祥平            | 都市計画及び地方計画      |
| 塩害を受けたRCT桁橋の補修設計                    | (株)開発技術コンサルタント 第一技術部<br>奥原智也                                   | 鋼構造及び<br>コンクリート |
| 手取川における礫河原の復元について                   | (株)国土開発センター 環境1部・国交省金沢河川国道事務所<br>片桐寿通・澤康雄・平野博範・大角一浩・三納圭之輔・田屋祐樹 | 建設環境            |
| ASRにより劣化したRC橋脚の補強とモニタリング            | (株)国土開発センター 設計事業部設計1部<br>浦修造・三浦幸太・笹谷輝彦                         | 鋼構造及び<br>コンクリート |

※ 応募順で掲載



## 「建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」について(ご案内)

拝啓 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より建設コンサルタンツ協会北陸支部に対しご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度建設コンサルタント企業に属する技術者の技術研鑽として、特色ある業務成果、創造的な研究や新技術開発の成果について発表する「建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」を開催する運びとなりました。

つきましては、業務ご多忙とは存じますが、多数ご参加下さいますよう案内申し上げます。

なお、当発表会の審査で最優秀賞となる支部長賞を受賞者された方は、建設コンサルタンツ協会50周年記念事業の一環として本部で開催する「業務・研究発表会（会場：東京）」におきまして発表していただくことになります。

敬具

### 記

1. 行 事 名：建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会
2. 主 催：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部
3. 後 援：国土交通省北陸地方整備局、新潟県
4. 日 時：平成25年8月8日(木) 13：00～18：00
5. 場 所：新潟市中央区新光町6-1 興和ビル10階 第5会議室
6. プログラム：主な内容を以下に示します。
  - ・基調講演：新潟大学工学部建設学科 大川秀雄 教授
  - ・業務・研究発表：8名（20分／人）
  - ・学生講演：長岡技術科学大学・新潟大学から各1名（15分／人）
  - ・表彰

7. 参 加 費：無料

8. 募 集 人 員：100名

9. 申 込 方 法

別紙参加申込書に所定の事項を記入のうえ、（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部宛、FAXにてお申し込み下さい。

10. 申込受付期限：平成25年7月22日(月)

申込人数が定員に達した場合は、締め切らせていただく場合がありますので、お早めにお申し込み下さい。

※ 当業務・研究発表会は建設コンサルタンツ協会のCPDプログラムに認定されます。



# 「第1回 北陸橋梁保全会議」の開催(お知らせ)

- ☐ 開催日程：平成25年11月11日(月)～12日(火)  
☐ 場 所：新潟グランドホテル〒951-8052 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230

☐ 会議内容：

■ 基調講演：「道路橋の維持管理について」－地方自治体がすべきことできること－  
西川 和廣氏 (一財)橋梁調査会 専務理事  
(元 国土交通省 国土技術政策総合研究所長)

■ パネルディスカッション：テーマ：「橋梁の長寿命化について」  
座 長：丸山 久一氏 長岡技術科学大学 教授

☐ 会議プログラム (予定)：

| 月 日       | 会 議 内 容     | 時 間         |
|-----------|-------------|-------------|
| 11月11日(月) | 開会式         | 13：00～13：20 |
|           | 基調講演        | 13：20～14：50 |
|           | 報文発表        | 15：00～17：45 |
|           | 交流会         | 18：00～      |
| 11月12日(火) | 報文発表        | 8：30～9：30   |
|           | パネルディスカッション | 9：45～11：45  |
|           | 閉会式         | 11：45～12：00 |

☐ 参加申込：

- 参加申込 ([http://www.hrr.mlit.go.jp/road/hozen\\_kaigi/index.html](http://www.hrr.mlit.go.jp/road/hozen_kaigi/index.html))
  - 参加される方は、ホームページから「参加申込書」をダウンロードして、必要事項を記載のうえメールでお申込み下さい。
  - 申込期限；平成25年9月30日(月)
- 参加費
  - 会議参加費（プログラム（CD-ROM版報文集を含む））：4,000円
  - 交流会参加費：5,000円
- 参加費の納入
  - 参加費は、下記口座へお振込み下さい。

北越銀行 古町支店  
(普) 2051734 北陸橋梁保全会議  
事務局 鈴木 修治
  - 納入期限；平成25年10月11日(金)
- 参加券の送付
  - 参加費の納入確認後、参加券を事務局より送付いたします。
  - 参加券は会議当日受付で提示して下さい。会議プログラム(CD-ROM版報文集付)をお渡しいたします。
- その他
  - 本会議は、(一社)全国土木施工管理技士連合会の認定を受けた継続学習制度(CPDS)認定会議です。[予定]

## 主 催：北陸橋梁保全会議 実行委員会

国土交通省北陸地方整備局、新潟県土木部、富山県土木部、石川県土木部、新潟市土木部、  
東日本高速道路㈱新潟支社、中日本高速道路㈱金沢支社、(財)新潟県建設技術センター、  
(一財)橋梁調査会、(一財)土木研究センター、(一社)北陸地域づくり協会、(一社)日本橋梁建設協会、  
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)建設コンサルタント協会北陸支部

# 北 陸 支 部 活 動 報 告

平成24年 4 月10日

## 平成24年度第 1 回役員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／一般社団法人の認可について

平成24年度地方ブロック意見交換会について  
「建設コンサルタントの役割と魅力」の冊子  
作成について

第30回北陸支部定例総会議案（案）について  
その他

平成23年度本部との意見交換会議事録について  
次回平成24年度第2回役員会開催日について

平成24年 4 月12日

## 北陸支部会計監査受検

場 所／北陸支部会議室

実施者／監事 新保 仁、山本 宏司

立会者／運営委員長 高田 一博

平成24年 4 月13日

## 創立30周年実行委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／各責任者から今後の調整事項説明

平成24年 4 月17日

## 広報部会

場 所／北陸支部会議室

議 題／創立30周年記念事業の役割分担について

平成24年 4 月24日

## 技術部会委員長会議

場 所／北陸支部会議室

議 題／平成24年度事業計画について

「建設コンサルタントの役割と魅力」の冊子  
作成について

平成24年 4 月25日

## 平成24年度 北陸支部定例総会

場 所／新潟市内

総 会

第 1 号議案 平成23年度事業報告（案）

第 2 号議案 平成23年度決算（案）

監査報告

第 3 号議案 平成24年度事業計画（案）

第 4 号議案 平成24年度予算（案）

第 5 号議案 細則の制定（案）

## 30周年記念講演会

講師 京都大学大学院 教授 藤井 聡氏

演題 「列島強靱化論 ～インフラ整備に  
よる北陸大交流圏の形成～」

## 30周年記念式典

祝賀会

平成24年 5 月 7 日

## 技術部会道路委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／平成24年度事業計画について

委員長会議の報告

平成24年 5 月 8 日

## 技術部会委員長会議

場 所／北陸支部会議室

議 題／「建設コンサルタントの役割と魅力」の冊子  
作成について

平成24年 5 月18日

## 講師派遣

派遣先／新潟県

派遣数／ 1 名

内 容／橋梁の耐震補強について

平成24年 5 月18日

## 平成24年度建設技術報告会第 1 回実行委員会

場 所／北陸技術事務所

議 題／平成24年度建設技術報告会実行委員会規約  
（案）について

平成24年度建設技術報告会実施計画(案)について  
平成24年度建設技術報告会予算[案]について  
その他

出席者／間瀬広報委員長

平成24年5月21日

**講師派遣**

派遣先／新潟県建設技術センター

派遣数／1名

内 容／道路概論について

平成24年5月22日

**技術部会委員長会議**

場 所／北陸支部会議室

議 題／「建設コンサルタントの役割と魅力」の冊子  
作成について

平成24年5月23日

**技術部会橋梁委員会**

場 所／北陸支部会議室

議 題／平成24年度事業計画について  
「建設コンサルタントの役割と魅力」の冊子  
作成について  
PC 建協との意見交換会について

平成24年5月30日

**平成24年度「北陸の建設技術」第1回編集委員会**

場 所／新潟市内

議 題／平成24年度実施体制について  
運営要領について  
平成24年度活動計画について  
平成24年度掲載内容及び担当について

出席者／会誌編集委員会 齋藤委員

平成24年5月30日

**広報部会**

場 所／北陸支部会議室

議 題／平成24年度活動計画

平成24年6月4日

**会誌編集委員会**

場 所／北陸支部会議室

議 題／雪の音115号の内容確認  
会員名簿の確認  
雪の音116号の発刊計画

平成24年6月6日

**創立30周年実行委員会**

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年6月11日

**創立30周年実行委員会**

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年6月12日

**第2回平成23年7月新潟・福島豪雨水害対応検証意見交換会**

場 所／新潟県庁

出席者／災害対策部会長他6名

平成24年6月12日

**第5回設計業務品質確保研究会**

場 所／北陸地方整備局

議 題／研究会構成員改正について  
品質向上対策の取り組みについて  
発注者、設計者、施工者の設計に対する役割  
と責任に応じた具体の対策  
平成24年度取り組み方針（案）

出席者／清原道路委員

渡辺橋梁委員長

涌井河川及び砂防委員長

平成24年6月13日

**都市計画委員会**

場 所／高岡市内

議 題／現地見学、10月研修会の検討

平成24年6月14日

**講師派遣**

派遣先／新潟県

派遣数／1名

内 容／受注者の現状と課題

平成24年6月18日

**創立30周年実行委員会**

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年6月20日

**平成24年度災害復旧事業技術講習会（共催）**

場 所／金沢市内

内 容／「災害査定業務の支援ツール Photog-CAD  
について」

講師 日本建設情報総合センター

北陸地方センター長 帆苺 正昭 氏



「Photog-CAD システムの取扱い操作について」

講師 日本建設情報総合センター

北陸地方センター 杉山 泰彦 氏

「災害採択の基本原則」

講師 北陸地方整備局 企画部

技術調整管理官 蚊爪 利之 氏

「改良復旧事業について」

講師 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課

災害査定官 平石 進 氏

「災害復旧工法」

講師(社)全国防災協会 災害復旧技術専門家

目黒 信雄 氏

「復旧工法のポイントと留意点」

講師 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課

災害査定官 平石 進 氏

「被災状況と採択事例～24災1号 小松海岸  
海岸災害復旧事業について」

講師 石川県南加賀土木総合事務所 河川砂防課

砂防係長 吉田 弘法 氏

参加者／113名

平成24年6月22日

感謝状贈呈式（新潟県）

場 所／新潟県自治会館

出席者／寺本支部長

平成24年6月22日

創立30周年実行委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年6月24日

石川事務所社会貢献活動

白山外来植物除去作業 in 市ノ瀬一斉防除

場 所／白山国立公園

内 容／外来植物除去作業

参加者／30名

平成24年6月27日

平成24年度第2回役員会

場 所／新潟市内

議 題／協会本部運営委員会、通常総会資料報告  
資格・CPD 部会報告

独占禁止法の遵守のための行動計画改定に  
ついて

一般社団法人への移行決議について

本部と北陸地方整備局等との意見交換会に  
ついて

新入会について

各部会行事予定について

その他

次回平成24年度第3回役員会開催日について

平成24年6月27日

本部と北陸地方整備局等との意見交換会

場 所／新潟市内

出席者／北陸地方整備局 前川局長他9名

新潟県 平野技監他1名

富山県 山谷建設技術企画課主幹

石川県 浜崎技術管理室課長補佐

新潟市 相田技監他2名

本部 大島会長他13名、北陸支部 寺本支部  
長他20名

平成24年6月27日

大河津分水路旧可動堰の記録保存調査に係る現場見学会

場 所／信濃川河川事務所

内 容／北陸地方整備局と建設コンサルタンツ協会北  
陸支部の河川研修会を協同開催 産官学から  
総勢60名参加

参加者／会員21名

平成24年7月3日

橋梁撤去技術マニュアル委員会

場 所／北陸地方整備局

議 題／橋梁撤去技術マニュアル第4回改訂について

出席者／横山技術部会長

平成24年7月5日

第7回北陸情報化施工研究会

場 所／北陸地方整備局

議 題／本年度の取り組みについて

出席者／木村道路委員

平成24年7月6日

全国事務局長会議

場 所／協会本部

議 題／25年度事業計画・予算等について  
第二次中期行動計画助成金について

平成24年7月10日

平成24年度北陸地方建設副産物対策連絡協議会

場 所／北陸地方整備局

議 題／平成23年度活動報告・平成23年度収支決算報告  
平成24年度活動計画・平成24年度予算計画  
その他

出席者／佐藤建設環境委員長

平成24年7月12日

創立30周年実行委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年7月16日

新潟県中越沖地震5周年合同追悼式

場 所／柏崎市内

出席者／小野塚副支部長

平成24年7月17日

北陸雪氷技術研究会平成24年度第1回運営委員会

場 所／北陸地方整備局

出席者／横山技術部会長

平成24年7月19日

平成24年度 マネジメントセミナー（本部主催）

場 所／新潟市内

講 師／本部担当委員会委員

内 容／建設コンサルタントとマネジメント  
PFI事業の今後の展望と建設コンサルタント  
の役割  
CM業務とCM業務導入の課題  
環境配慮の動向と建設コンサルタントの役割  
マネジメントシステムの実効性の向上  
品質の確保・向上に向けて

参加者／国3名、県2名、会員48名、非会員3名、  
計56名

平成24年7月19日

第1回北陸地方整備局新技術活用評価会議

場 所／北陸技術事務所

出席者／涌井河川及び砂防委員長

平成24年7月24日

北陸地方整備局と北陸支部の協同河川研修会

場 所／信濃川河川事務所管内

内 容／中央大学研究開発機構 福岡捷二教授による  
河川研修会

参加者／会員51名

平成24年7月27日

道路・トンネル技術講習会

場 所／新潟市内

演 題 「新潟バイパス・関越トンネルの調査計画  
について」

講師 花市 颯悟 氏

演 題 「道路からの二酸化炭素削減に向けて」

講師 国土交通省 国土技術政策総合研究所  
環境研究部 道路環境研究室  
室長 角湯 克典 氏

出席者／43名

平成24年7月30日

第6回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／長野市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部  
地方事業評価管理官 岡村 幸弘 氏  
演題 「北陸における橋梁の老朽化の現状と  
課題について」

講師 長岡技術科学大学 環境・建設系  
教授 丸山 久一 氏

参加者／36名

平成24年7月30日

対外活動部会新潟地域委員会

場 所／北陸支部会議室

内 容／平成24年度 新潟県、新潟市との意見交換会  
について

平成24年7月31日

第6回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／富山市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部  
技術開発調整官 今野 和則 氏

演題 「北陸における橋梁の老朽化の現状と課題について」

講師 長岡技術科学大学 環境・建設系  
准教授 田中 泰司 氏

参加者／50名

平成24年8月1日

施工管理用3次元データに関する技術講習会

場 所／新潟市内

講 師／（一社）日本建設機械施工協会  
施工技術総合研究所 研究第3部  
主任研究員 鈴木 勇治 氏

内 容／TS 出来型管理による施工の概要  
施工管理用3次元データ作成及び照査

参加者／22名

平成24年8月1日

第6回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／金沢市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部  
技術開発調整官 今野 和則 氏

演題 「北陸における橋梁の老朽化の現状と課題について」

講師 長岡技術科学大学 環境・建設系  
教授 丸山 久一 氏

参加者／26名

平成24年8月3日

第6回社会資本整備セミナー（共催）

場 所／新潟市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」

講師 北陸地方整備局 企画部  
技術調整管理官 蚊爪 利之 氏

演題 「北陸における橋梁の老朽化の現状と課題について」

講師 長岡技術科学大学 環境・建設系  
准教授 田中 泰司 氏

参加者／88名

平成24年8月7日

創立30周年実行委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年8月19日

富山事務所社会貢献活動

富山市主催「ふるさと富山美化大作戦」参加

場 所／富山市 富山駅周辺

内 容／清掃活動

参加者／21名

平成24年8月21日

平成24年度第3回役員会

場 所／富山市内

議 題／協会本部定例運営会議等報告

- ・平成24年度災害時対応演習について
- ・各部会等報告
- ・タイ洪水被害に関する現地調査結果報告
- ・「東北地整が保有する東日本大震災土木啓発広報資料の使用」について
- 建設コンサルタンツ協会支部規約の改正について
- 予算編成日程について
- 本部と北陸地方整備局等との意見交換会について
- 支部と北陸地方整備局との意見交換会について
- 本部からの支部助成金等について
- 「共催」について
- 各部会行事予定について
- 支部創立30周年記念誌について
- その他
- ・次回平成24年度第4回役員会の開催について

平成24年8月24日

橋梁現場見学会

場 所／新潟国道事務所管内

内 容／一般国道49号揚川改良 小花地大橋（揚川橋）  
見学

参加者／27名

平成24年8月27日

講師派遣

派遣先／新潟県

派遣数／1名

内 容／道路橋示方書の改訂ポイントと「照査の流れ及びチェックポイント」



平成24年8月31日

#### 防災演習

場 所／北陸支部会議室

内 容／FAX 及びメールによる送受信

参加者／広報部会長外4名

平成24年9月4日・5日

#### 講師派遣

派遣先／新潟県建設技術センター

派遣数／7名

内 容／道路設計全般、平面線形基礎演習(1)(2)、  
縦断線形基礎演習、河川橋計画基礎演習(1)(2)、  
横断設計基礎演習、平面交差点基礎演習、  
重力式擁壁の安定計算

平成24年9月7日

#### 河川見学会

場 所／石川県辰巳ダム建設事務所管内

内 容／辰巳ダム及びその周辺施設

参加者／17名

平成24年9月7日

#### PC 建協との意見交換会

場 所／新潟市内

内 容／PC 建協からの技術紹介等

平成24年9月10日

#### 30周年準備委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／記念誌発行について

平成24年9月14日

#### 講師派遣

派遣先／(財)新潟県建設技術センター

派遣数／5名

内 容／下部工設計のための地質調査の基本、下部工  
設計の基本、下部工の施工とその留意事項、  
下部工施工時における仮設構造物の計画、橋  
梁設計のエラー事例

平成24年9月21日

#### 講師派遣

派遣先／新潟県建設技術センター

派遣数／1名

内 容／橋梁設計のエラー事例

平成24年9月26日

#### 橋梁技術講演会

場 所／新潟市内

内 容／演題 「橋とのかかわり—40年—」

講師 長岡技術科学大学 教授

長井 正嗣 氏

演題 「橋のトータルデザイン」

講師 東京大学大学院 教授

藤野 陽三 氏

参加者／135名

平成24年9月28日

#### 道路・トンネル現場見学会

場 所／首都高速道路・横浜環状北線等

内 容／現場見学（シールドトンネル、擁壁、舗装）

参加者／14名

平成24年10月3日・4日

#### 都市計画研修会

場 所／名古屋市内

内 容／名古屋市の歴史的資源を活かしたまちづくり  
について、意見交換会及び現地見学会

参加者／12名

平成24年10月9日

#### 新潟県土木部との意見交換会

場 所／新潟市内

議 題／土木部予算について

地域調達について

入札・契約制度等について

業務の円滑な執行について

各地域機関の現況と課題等について

出席者／新潟県 田宮土木部長 他12名

北陸支部 小野塚新潟地域委員長 他12名

平成24年10月10日

#### 広報部会広報委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／社会貢献活動について

平成24年10月11日

#### 広報部会会誌編集委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／会誌「雪の音」第116号の内容確認

会誌「雪の音」第117号の発行計画

平成24年10月12日

北陸地方建設副産物連絡協議会下越分科会・分会長会議

場 所／新潟国道事務所

出席者／栗山建設環境委員

平成24年10月13日

社会貢献活動（新潟）

場 所／新潟市中央区本町

参加者／寺本支部長 他28名

平成24年10月19日

平成24年度 RCCM 登録更新講習会（本部主催）

場 所／新潟市内

参加者／200名

平成24年10月24日

平成24年度第4回役員会

場 所／新潟市内

内 容／協会本部運営委員会報告

平成25年度予算等について

東日本大震災における災害対応等状況について

「共催」について

北陸橋梁保全会議（仮称）について

各部会行事予定について

その他／次期役員会について

平成24年10月24日

北陸地方整備局との意見交換会

場 所／新潟市内

議 題／入札契約に関する事項について

品質確保に関する事項について

経営安定と設計技術者の環境改善に関する事項について

出席者／北陸地方整備局 橋場局長 他7名

北陸支部 寺本支部長 他19名

平成24年10月25日

品質セミナー（共催）

場 所／新潟市内

内 容／エラーの技術的分析と改善策：道路／トンネル

エラーの技術的分析と改善策：橋梁

土質・地質調査の計画、実施及び結果の評価

エラーの技術的分析と改善策：砂防・急傾斜

エラーの技術的分析と改善策：河川構造物

エラーに対する支部の取組み

参加者／67名

平成24年10月26日

独占禁止法の遵守に関する研修会（共催）

場 所／金沢市内

講 師／（公財）公正取引協会 客員研究員 谷村吉弘氏

内 容／入札談合と独占禁止法

参加者／95名

平成24年10月30日

講師派遣

派遣先／富山県

派遣数／3名

内 容／土木部技術職員研修（土木一般技術・中級）

平成24年10月31日

平成24年度建設技術報告会（実行委員会）

場 所／金沢市内

参加者／80名

平成24年11月2日

対外活動部会新潟地域委員会

場 所／北陸支部会議室

内 容／意見交換会等について

平成24年11月7日

総括部会

場 所／北陸支部会議室

内 容／部会運営について

平成24年11月8日

講師派遣

派遣先／新潟県建設技術センター

派遣数／1名

内 容／コンクリート構造物の維持管理

平成24年11月13日

北陸橋梁保全会議（仮称）実行委員会

場 所／新潟国道事務所

議 題／北陸橋梁保全会議設立について

出席者／金子支部理事

平成24年11月13日

対外活動部会新潟地域委員会

場 所／新潟市内

議 題／意見交換会等について

平成24年11月13日

新潟市との意見交換会

場 所／新潟市内

議 題／各部の施策並びに建設関係予算について

入札・契約制度等について

地域調達について

業務の円滑な執行について

出席者／新潟市 相田技監 他13名

北陸支部 小野塚新潟地域委員長 他13名

平成24年11月13日

コンクリートパイル技術講習会（協賛）

場 所／新潟市内

参加者／92名

平成24年11月14日・15日

北陸雪氷シンポジウム（共催）

場 所／新潟市内

内 容／基調講演

「南極から見る地球環境」

長岡工業高等専門学校

名誉教授 佐藤 和秀 氏

パネルディスカッション

雪氷技術研究発表

雪に関する取組・研究 22編

参加者／200名

平成24年11月15日

講師派遣

派遣先／新潟県建設技術センター

派遣数／1名

内 容／コンクリート構造物の維持管理

平成24年11月16日

CAD 講習会

場 所／新潟市内

内 容／CAD に関する最新動向について

SXF データ作成要領の紹介について

OCF 会員企業の（我社 CAD ソフトの紹介）

について

参加者／36名

平成24年11月16日

事業・研究発表会 WG

場 所／北陸支部会議室

議 題／「事業・研究発表会」の開催について

平成24年11月21日

富山県景観づくりフォーラム2012（後援）

場 所／富山市内

内 容／「うるおい環境とやま賞」表彰

「景観広告とやま賞」表彰

景観づくり講演会

講師 篠原 修 氏（東京大学名誉教授）

参加者／200名

平成24年11月22日

河川情報センター講演会（後援）

場 所／新潟市内

内 容／講演

「超過洪水時代の河川管理への備え」

新潟大学 災害復興科学研究所

准教授 安田 浩保 氏

参加者／137名

平成24年11月22日

情報セキュリティ講習会

場 所／新潟市内

内 容／情報セキュリティ専門委員会の活動紹介

建設コンサルタンツ協会の情報セキュリティ

ガイドライン

情報漏えい対策への取り組み

新しい技術の理解と情報セキュリティ対策の徹底

出席者／36名

平成24年11月26日

出前講演（大形小学校）

場 所／新潟市立大形小学校

内 容／環境等について

① 水のごれについて

② エコ生活について

参加者／5年生 180名

平成24年11月27日

広報部会広報委員会

場 所／北陸支部会議室



内 容／広報等について

平成24年11月28日

Made in 新潟（土木・建築）新技術説明会（共催）

場 所／上越市内

内 容／新技術の特徴や活用現場における効果等を発表

参加者／36名

平成24年11月30日

Made in 新潟（土木・建築）新技術説明会（共催）

場 所／長岡市内

内 容／新技術の特徴や活用現場における効果等を発表

参加者／113名

平成24年11月30日

里山に関する技術講習会

場 所／富山市内

内 容／講演「里山と川・海との関わり」

富山県農林水産総合技術センター

水産研究所 田子 康彦 氏

講演「水と緑の森づくりー水と緑の森づくり

税による取り組みについてー」

富山県農林水産部 森林政策課

清水 真人 氏

参加者／40名

平成24年12月1日

応用生態工学会第1回北信越事例発表会（後援）

場 所／富山市内

内 容／事例・研究発表

総合討論

「北信越事例発表会に何を期待するか」

参加者／80名

平成24年12月6日

北陸橋梁保全会議講演会（実行委員会）

場 所／新潟市内

内 容／特別講演

「コンクリート構造物の耐久性、補修・補強技術」

長岡技術科学大学

環境・建設系 教授 丸山 久一 氏

講演

「道路橋の予防保全の取り組み」

国土交通省道路局国道・防災課

道路保全企画室 室長 土井 弘次 氏

「東日本大震災の教訓と鋼橋の保全」

（一社）日本橋梁建設協会

保全委員会 幹事長 河西 龍彦 氏

「PC 橋の維持保全のあり方」

（社）プレストレスト・コンクリート建設業協会

保全・補修部会 副部会長

藤原 保久 氏

「道路橋のマネジメント」

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物管理研究室 室長

玉越 隆史 氏

参加者／442名（会員30名）

平成24年12月10日

対外活動部会新潟地域委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／課題の調整について

平成24年12月11日

出前講演（新潟大学）

場 所／新潟大学

内 容／環境影響評価 自然環境調査

参加者／学生・院生 20名

平成24年12月11日

出前講演（丸山小学校）

場 所／新潟市立丸山小学校

内 容／建設コンサルタントの紹介

道路の役割

道路の歴史

道路の出来るまで

身近な道路の構造

参加者／5年生 51名

平成24年12月12日

北陸地方建設副産物対策連絡協議会新潟県上越分科会

場 所／高田河川国道事務所

出席者／藤本建設環境委員

平成24年12月13日

総括・広報合同部会

場 所／新潟市内

議 題／今年度の活動等について

平成24年12月13日

技術部会委員長会議

場 所／新潟市内

内 容／今年度の活動等について

平成24年12月13日

平成24年度第5回役員会

場 所／新潟市内

内 容／協会本部運営委員会報告

- ・各部会報告
- ・平成23年度独禁法遵守のための行動計画状況
- ・ISO9001を活かす81のポイントの改訂版発行
- ・ISO5500X 国際規格発行予定 他

平成25年度事業計画案について

平成25年度予算案について

本部と北陸支部との意見交換会について

各部会行事予定について

PR 冊子の配布について

その他 次期役員会等について

平成24年12月13日

本部藤本副会長講演会

場 所／新潟市内

内 容／公共事業復権 5つのシナリオ

参加者／73名

平成24年12月13日

橋梁技術講演会

場 所／新潟市内

内 容／道路橋示方書の改訂内容について

(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会

技術委員 藤井 義法 氏

東日本大震災の被害調査報告について

(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会

技術委員 恩田 邦彦 氏

参加者／32名

平成24年12月15日・16日

歴史的空間再編コンペティション2012 (協賛)

場 所／金沢市内

参加者／100名

平成24年12月16日

(仮称) 新潟市防災に係る講演会 WG

場 所／北陸支部会議室

議 題／新潟市との「防災に関する講演会」の共催について

平成24年12月17日

新技術活用評価会議

場 所／北陸地方整備局

出席者／涌井委員長

平成24年12月26日

第6回設計業務品質確保研究会

場 所／北陸地方整備局

参加者／涌井委員長 渡辺委員長 清原道路委員

平成24年12月28日

独占禁止法の遵守に関する特別部会

場 所／北陸支部会議室

議 題／独占禁止法の遵守に関する講習会の開催について

平成25年1月16日

事業・研究発表会 WG

場 所／北陸支部会議室

議 題／「事業・研究発表会」の開催について

平成25年1月18日

新潟市との打ち合わせ

場 所／新潟市会議室

内 容／「防災講演会」の共催について

平成25年1月25日

北陸橋梁保全会議合同部会

場 所／北陸地方整備局会議室

議 題／北陸橋梁保全会議の開催について

出席者／青木広報部会長、渡辺橋梁委員長

平成25年1月28日

対外活動部会新潟地域委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／新潟県からの意見照会について

平成25年1月29日

Made in 新潟 (土木・建築) 新技術説明会 (共催)

場 所／新潟市

内 容／新技術の特徴や活用現場における効果等を発表

参加者／35名

平成25年1月30日

「けんせつフェア北陸 in 金沢（仮称）」準備会

場 所／北陸地方整備局会議室

議 題／「けんせつフェア北陸 in 金沢（仮称）」の開  
催について

出席者／松浦事務局長

平成25年1月31日

国土技術政策総合研究所との意見交換会

場 所／新潟市内

議 題／調査・設計等業務の品質確保について

出席者／国総研 大谷 悟氏、南 昌宏氏  
北陸地方整備局 渡辺技術管理課長補佐他1名  
北陸支部 小野塚副支部長 他8名

平成25年2月1日

第7回社会資本整備セミナー（新潟）（共催）

場 所／新潟市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」  
講師 北陸地方整備局 企画部  
技術開発調整官 今野 和則 氏  
演題 「北陸新幹線の概要と建設技術」  
講師 （独）鉄道・運輸機構 鉄道建設本部  
北陸新幹線第二建設局 計画課長  
長谷川 正明 氏

参加者／203名（会員53名）

平成25年2月4日

北陸橋梁保全会議幹事会

場 所／新潟国道事務所

内 容／北陸橋梁保全会議開催概要等について  
各部会の担当と作業方針について  
その他

出席者／松浦事務局長

平成25年2月4日

第7回社会資本整備セミナー（富山）（共催）

場 所／富山市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」  
講師 北陸地方整備局 企画部  
地方事業評価管理官 岡村 幸弘 氏  
演題 「北陸新幹線の概要と建設技術」  
講師 （独）鉄道・運輸機構 鉄道建設本部

北陸新幹線第二建設局 計画課長

長谷川 正明 氏

参加者／130名（会員48名）

平成25年2月5日

第7回社会資本整備セミナー（金沢）（共催）

場 所／金沢市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」  
講師 北陸地方整備局 企画部  
地方事業評価管理官 岡村 幸弘 氏  
演題 「北陸新幹線の概要と建設技術」  
講師 （独）鉄道・運輸機構 鉄道建設本部  
大阪支社 計画課長 堀川 淳 氏

参加者／59名（会員17名）

平成25年2月5日

新潟県土木部との打ち合わせ

場 所／北陸支部会議室

議 題／新潟県土木部としての広報活動について

出席者／新潟県 2名  
北陸支部 4名

平成25年2月6日

第7回社会資本整備セミナー（長野）（共催）

場 所／長野市内

内 容／演題 「最近の国土交通行政の取り組みについて」  
講師 北陸地方整備局 企画部  
技術調整管理官 蚊爪 利之 氏  
演題 「北陸新幹線の概要と建設技術」  
講師 （独）鉄道・運輸機構 鉄道建設本部  
北陸新幹線建設局 計画課長  
古谷 聡 氏

参加者／35名（会員 8名）

平成25年2月6日

对外活動部会新潟地域委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／新潟県からの意見照会について

平成25年2月6日

独占禁止法の遵守に関する講習会

場 所／新潟市内

内 容／公正な取引のための講演  
『請負契約における双務性の向上について』



北陸支部 小野塚副支部長  
会員の意識改革、体質改善並びに  
社内相談体制の充実のための講演  
『職場活性化のためのコミュニケーション』  
株式会社よしともコミュニケーションズ  
代表取締役 吉友 嘉久子 様  
社内講習向け資料の要旨及びポイントの説明  
独禁法に関する委員会 実行委員会  
委 員 西潟 常夫 氏

参加者／69名

平成25年2月7日

#### 広報部会会誌編集委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／会誌「雪の音」第117号の内容確認  
会誌「雪の音」第118号の発行計画

平成25年2月12日

#### 北陸地方建設事業推進協議会建設情報広報部会

場 所／新潟市内

内 容／平成24年度活動結果について  
平成25年度活動方針について

出席者／間瀬広報委員長

平成25年2月12日

#### 北陸地方建設事業推進協議会工事施工対策部会

場 所／新潟市内

内 容／平成24年度活動結果について  
平成25年度活動方針について

出席者／渡辺道路委員長

平成25年2月12日

#### 北陸地方建設事業推進協議会新施策促進普及部会

場 所／新潟市内

内 容／平成24年度活動結果について  
平成25年度活動方針について

出席者／横山技術部会長

平成25年2月13日

#### 再生可能エネルギー熱シンポジウム（後援）

場 所／新潟市内

内 容／基調講演  
「地中熱利用の現状と展望」  
NPO 法人 地中熱利用促進協会

理事長 笹田政克 氏  
新潟県内における地中熱利用施設導入の事例  
発表  
パネルディスカッション

参加者／95名

平成25年2月15日

#### 対外活動部会新潟地域委員会

場 所／北陸支部会議室

議 題／新潟県との意見交換等について

出席者／新潟県 6名

北陸支部 7名

平成25年2月25日

#### 平成24年度第6回役員会

場 所／新潟市内

内 容／協会本部運営委員会報告

- ・平成25年度事業計画案について
- ・平成25年度予算案について
- ・各部会報告
- ・新中期計画に対する常任理事会での意見
- ・広報戦略委員会活動（途中）経過Ⅰ報告 他  
支部組織について  
北陸支部細則の改正について  
平成25年度第31回通常総会について  
各部会行事予定について  
その他 次期役員会等について

平成25年2月25日

#### 本部と北陸支部との意見交換会

場 所／新潟市内

内 容／平成25年度「要望と提案」について  
平成25年度「白書」について  
その他

出席者／本部 大島会長 他11名

北陸支部 寺本支部長 他14名

平成25年3月6日

#### 「けんせつフェア北陸 in 金沢（仮称）」実行委員会

場 所／新潟市内

内 容／実行委員会規約（案）について  
実施計画（案）について  
出展募集要領（案）について

その他

出席者／間瀬広報委員長

平成25年3月11日

新技術活用評価会議

場 所／北陸地方整備局

出席者／涌井委員長

平成25年3月12日

平成24年度「北陸の建設技術」第2回編集委員会

場 所／上越市内

議 題／平成24年度活動状況について

平成24年度収支状況について

平成24年度活動計画について

その他

出席者／会誌編集委員会 齋藤委員

平成25年3月16日

出前講演（立山砂防女性サロンの会）

場 所／富山市内

内 容／被災地視察報告会について

建設コンサルタントの紹介について

その他

参加者／女性サロンの会 50名

北陸支部 吉田副支部長 他7名

平成25年3月29日

気象防災講演会（後援）

場 所／長岡市内

内 容／「頻発する異常気象とこれからの天気」

～冬が寒いと、夏が暑い～

講師：NPO 法人気象キャスターネットワーク

岩谷 忠幸 氏

「水の巡回展示について」

講師：ミュージアムプランナー 草刈 清人 氏

参加者／89名（会員20名）

# 社団法人 建設コンサルタンツ協会北陸支部

## 会 員 名 簿

| 会 社 名                              | 事業所名      | 〒 住 所                                       | 電話番号<br>FAX 番号               |
|------------------------------------|-----------|---------------------------------------------|------------------------------|
| 朝 日 航 洋 (株)                        | 北 陸 空 情 社 | 950-0088 新潟市中央区万代 2-3-6<br>(新潟東京海上日動ビル 2 F) | 025(249)1150<br>025(249)1155 |
| 旭 調 査 設 計 (株)                      | 本 社       | 950-0908 新潟市中央区幸西 1-1-11                    | 025(245)8345<br>025(245)8349 |
| ア ジ ア 航 測 (株)                      | 新潟営業所     | 950-0087 新潟市中央区東大通 2-3-28<br>(パーク新潟東大通ビル)   | 025(243)3246<br>025(247)7969 |
| (株) ア ル ゴ ス                        | 本 社       | 944-0009 妙高市東陽町 1-1                         | 0255(72)3448<br>0255(72)9426 |
| アルスコンサルタンツ(株)                      | 本 社       | 921-8116 金沢市泉野出町 2-1-1                      | 076(248)4004<br>076(248)4174 |
| い で あ (株)                          | 北陸事務所     | 950-0087 新潟市中央区東大通 2-5-1<br>(K D X 新潟ビル)    | 025(241)0283<br>025(243)5650 |
| (株) エ イ ト 日 本 技 術 開 発              | 新潟営業所     | 943-0804 上越市新光町 1-4-52                      | 025(522)7570<br>025(522)7786 |
| エ ヌ シ ー イ ー (株)                    | 本 社       | 950-0964 新潟市中央区綱川原 1-4-11                   | 025(285)8540<br>025(285)3531 |
| 大 原 技 術 (株)                        | 本 社       | 940-0856 長岡市美沢 3-275                        | 0258(35)4511<br>0258(36)3254 |
| 応 用 地 質 (株)                        | 新 潟 支 店   | 950-0864 新潟市東区紫竹 7-27-35                    | 025(274)5656<br>025(271)6765 |
| (株) オ リ エ ン タ ン ツ<br>コ ン サ ル タ ン ツ | 北 陸 支 店   | 950-0087 新潟市中央区東大通 2-3-26<br>(ブレイス新潟 4 F)   | 025(244)7881<br>025(244)7387 |
| 開 発 技 建 (株)                        | 本 社       | 950-0914 新潟市中央区紫竹山 7-13-16                  | 025(245)7131<br>025(245)7132 |
| (株)開発技術コンサルタント                     | 本 社       | 951-8133 新潟市中央区川岸町 3-33-3                   | 025(233)0204<br>025(233)6465 |
| 川 崎 地 質 (株)                        | 北 陸 支 店   | 950-0914 新潟市中央区紫竹山 5-7-5                    | 025(241)6294<br>025(241)6226 |
| 基礎地盤コンサルタンツ(株)                     | 北 陸 支 店   | 950-0925 新潟市中央区弁天橋通 1-2-34                  | 025(257)1888<br>025(257)1880 |
| 北 建 コ ン サ ル (株)                    | 本 社       | 933-0941 高岡市内免 3-3-6                        | 0766(23)3666<br>0766(23)3987 |
| (株) キ タ ッ ク                        | 本 社       | 950-0965 新潟市中央区新光町 10-2                     | 025(281)1111<br>025(281)0002 |
| (株) 協 和                            | 本 社       | 933-0838 高岡市北島 1406                         | 0766(22)2100<br>0766(22)7602 |
| (株) ク リ エ イ ト セ ン タ ー              | 本 社       | 951-8133 新潟市中央区川岸町 2-8-1                    | 025(232)7121<br>025(232)7130 |
| (株) ク レ ア リ ア                      | 新潟営業所     | 950-0916 新潟市中央区米山 4-19-13<br>(ハイムオカザキ)      | 025(248)2205<br>025(248)2206 |
| (株) 計 画 情 報 研 究 所                  | 本 社       | 920-0025 金沢市駅西本町 2-10-6                     | 076(223)5445<br>076(223)4144 |
| (株) 建 成 コ ン サ ル タ ン ト              | 本 社       | 933-0014 高岡市野村 284-1                        | 0766(25)6097<br>0766(25)5697 |

| 会 社 名                 | 事業所名    | 〒 住 所                                         | 電話番号<br>FAX 番号               |
|-----------------------|---------|-----------------------------------------------|------------------------------|
| 建設技研コンサルタンツ(株)        | 本 社     | 933-0007 高岡市角 602-1                           | 0766(21)6126<br>0766(21)6192 |
| (株) 建 設 環 境 研 究 所     | 新 潟 支 店 | 950-0965 新潟市中央区新光町 6-1<br>(興和ビル 7 F)          | 025(285)6437<br>025(280)9750 |
| (株) 建 設 技 術 研 究 所     | 北 陸 支 社 | 950-0088 新潟市中央区万代 4-4-27<br>(新潟テレコムビル)        | 025(245)3883<br>025(241)9082 |
| (株) 建 設 技 術 セ ン タ ー   | 新潟営業所   | 957-0056 新発田市大栄町 7-6-3                        | 0254(21)3100<br>0254(21)3101 |
| (株) 構 造 技 研 新 潟       | 本 社     | 950-0965 新潟市中央区新光町 6-1<br>(興和ビル 8 F)          | 025(282)3337<br>025(282)3323 |
| 国 際 航 業 (株)           | 新 潟 支 店 | 950-0087 新潟市中央区東大通 2-3-26<br>(ブレイス新潟)         | 025(247)0318<br>025(241)4146 |
| (株) 国 土 開 発 セ ン タ ー   | 本 社     | 921-8033 金沢市寺町 3-9-41                         | 076(247)5080<br>076(247)5090 |
| 国 土 防 災 技 術 (株)       | 新 潟 支 店 | 950-2042 新潟市西区坂井 1035-1                       | 025(260)2245<br>025(260)7522 |
| 五 大 開 発 (株)           | 本 社     | 921-8051 金沢市黒田 1-35                           | 076(240)6588<br>076(240)6575 |
| サンコーコンサルタント(株)        | 北 陸 支 店 | 950-2055 新潟市西区寺尾上 4-4-15                      | 025(260)3141<br>025(268)4950 |
| (株) 上 智               | 本 社     | 939-1351 砺波市千代 176-1                          | 0763(33)2085<br>0763(33)2558 |
| (株)新日本コンサルタント         | 本 社     | 930-0142 富山市吉作 910-1                          | 076(436)2111<br>076(436)3050 |
| 相 互 技 術 (株)           | 本 社     | 950-0994 新潟市中央区上所 2-11-14                     | 025(283)0150<br>025(283)0152 |
| (株)大東設計コンサルタント        | 新 潟 支 店 | 950-0086 新潟市中央区花園 2-1-16<br>(三和ビル)            | 025(246)1320<br>025(247)3740 |
| 大日本コンサルタント(株)         | 北 陸 支 社 | 930-0175 富山市願海寺 633                           | 076(436)7855<br>076(436)6030 |
| (株)ダイヤコンサルタント         | 北 陸 支 店 | 950-2001 新潟市西区浦山 4-1-24                       | 025(234)2110<br>025(234)2111 |
| 舘 下 コ ン サ ル タ ン ツ (株) | 本 社     | 939-3553 富山市水橋の場 234                          | 076(478)0090<br>076(478)1190 |
| 中 央 開 発 (株)           | 北 陸 支 店 | 950-0982 新潟市中央区堀之内南 3-1-21<br>(北陽ビル)          | 025(283)0211<br>025(283)0212 |
| (株) 中 部 コ ン サ ル タ ン ト | 本 社     | 933-0866 高岡市清水町 3-5-9                         | 0766(21)4536<br>0766(22)4370 |
| (株) 長 大               | 北陸事務所   | 950-0965 新潟市中央区新光町 6-1<br>(興和ビル 6 F)          | 025(288)0271<br>025(288)0273 |
| (株)千代田コンサルタント         | 新潟営業所   | 950-0911 新潟市中央区笹口 1-19-31                     | 025(244)8445<br>025(249)4776 |
| (株)東京建設コンサルタント        | 北 陸 支 社 | 950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-23<br>(北陸ビル)           | 025(248)3870<br>025(248)3877 |
| 東 京 コ ン サ ル タ ン ツ (株) | 新 潟 支 店 | 950-0912 新潟市中央区南笹口 1-1-12<br>(クラスターナインビル 8 F) | 025(246)1827<br>025(246)7463 |
| (株) 東 洋 設 計           | 本 社     | 920-0016 金沢市諸江町中丁 214                         | 076(263)6555<br>076(233)1224 |
| ナチュラルコンサルタント(株)       | 本 社     | 921-8066 金沢市矢木 2-147                          | 076(246)1171<br>076(246)4489 |



| 会 社 名                            | 事業所名    | 〒 住 所                                      | 電話番号<br>FAX 番号               |
|----------------------------------|---------|--------------------------------------------|------------------------------|
| (株)ナルサワコンサルタント                   | 本 社     | 950-0964 新潟市中央区綱川原 1-21-11                 | 025(282)2070<br>025(284)7993 |
| (株)日本海コンサルタント                    | 本 社     | 921-8042 金沢市泉本町 2-126                      | 076(243)8258<br>076(243)0887 |
| 日 本 工 営 (株)                      | 新 潟 支 店 | 950-0962 新潟市中央区出来島 1-11-28                 | 025(280)1701<br>025(283)0898 |
| (株)日本港湾コンサルタント                   | 北陸事務所   | 950-0087 新潟市中央区東大通 2-5-8                   | 025(243)0431<br>025(241)1806 |
| (株) ニ ュ ー ジ ェ ッ ク                | 北 陸 支 店 | 950-0911 新潟市中央区笹口 2-10-1<br>(W I N 21 4 F) | 025(243)4471<br>025(243)4472 |
| パ シ フ ィ ッ ク<br>コ ン サ ル タ ン ツ (株) | 北 陸 支 社 | 950-0917 新潟市中央区天神 1-1<br>(プラーカ 3 6 F)      | 025(247)1341<br>025(246)1005 |
| (株) プ ラ ネ ッ ト ・<br>コ ン サ ル タ ン ト | 本 社     | 920-0353 金沢市赤土町ト 95-1                      | 076(268)1206<br>076(268)1207 |
| 北電技術コンサルタント(株)                   | 本 社     | 930-0858 富山市牛島町 13-15                      | 076(432)9936<br>076(432)4280 |
| 北 陸 コ ン サ ル タ ン ト (株)            | 本 社     | 939-8213 富山市黒瀬 192                         | 076(493)7717<br>076(493)7720 |
| 三 井 共 同 建 設<br>コ ン サ ル タ ン ト (株) | 北陸事務所   | 950-0087 新潟市中央区東大通 2-5-8<br>(東大通野村ビル)      | 025(244)2503<br>025(244)2573 |
| 明 治 コ ン サ ル タ ン ト (株)            | 北 陸 支 店 | 950-2002 新潟市西区青山 1-1-22                    | 025(265)1122<br>025(265)1126 |
| 八千代エンジニアリング(株)                   | 北 陸 支 店 | 950-0088 新潟市中央区万代 1-1-1<br>(朝日生命新潟ビル)      | 025(243)5454<br>025(243)5883 |
| (一社) 北陸地域づくり協会                   | 本 部     | 950-0197 新潟市江南区亀田工業団地 2-3-4                | 025(381)1020<br>025(383)1205 |
| (財)新潟県建設技術センター                   | 本 部     | 950-1101 新潟市西区山田 2522-18                   | 025(267)4804<br>025(267)4854 |

## 各部会・委員会委員名簿

| 独占禁止法の遵守に関する特別部会 |  |         |               |
|------------------|--|---------|---------------|
| 部 会 長            |  | 寺 本 邦 一 | 開発技建(株)       |
|                  |  | 新 家 久 司 | (株)国土開発センター   |
|                  |  | 吉 田 攻   | 大日本コンサルタント(株) |
|                  |  | 小野塚 眞 一 | (株)キタック       |
|                  |  | 齋 藤 真 晴 | 開発技建(株)       |
|                  |  | 金 子 慶 一 | (株)国土開発センター   |
|                  |  | 大 浦 淳   | 大日本コンサルタント(株) |
|                  |  | 西 潟 常 夫 | (株)キタック       |

| 対 外 活 動 部 会 |     |         |                |
|-------------|-----|---------|----------------|
| 部 会 長       |     | 寺 本 邦 一 | 開発技建(株)        |
|             |     | 新 家 久 司 | (株)国土開発センター    |
|             |     | 吉 田 攻   | 大日本コンサルタント(株)  |
|             |     | 小野塚 眞 一 | (株)キタック        |
|             |     | 大 平 則 夫 | エヌシーイー(株)      |
|             |     | 矢 田 弘   | (株)東京建設コンサルタント |
|             |     | 田 中 義 明 | 大日本コンサルタント(株)  |
|             |     | 長 森 孝 司 | (株)日本海コンサルタント  |
| 幹 事         |     | 坂 上 悟   | 開発技建(株)        |
| 新 潟 地 域 委 員 | 委員長 | 小野塚 眞 一 | (株)キタック        |
|             | 委 員 | 阿 部 良 満 | エヌシーイー(株)      |
|             | 委 員 | 山 岸 守   | 開発技建(株)        |
|             | 委 員 | 上 田 茂 樹 | (株)クリエイイトセンター  |
|             | 委 員 | 中 俣 孝   | (株)構造技研新潟      |
|             | 委 員 | 船 谷 喜代文 | 旭調査設計(株)       |
|             | 委員長 | 吉 田 攻   | 大日本コンサルタント(株)  |
|             | 委 員 | 田 中 義 明 | 大日本コンサルタント(株)  |
|             | 委 員 | 竹 腰 直 治 | 北建コンサル(株)      |
|             | 委 員 | 吉 田 勉   | (株)上智          |
|             | 委 員 | 大 浦 淳   | 大日本コンサルタント(株)  |
|             | 委 員 | 栄 知 之   | 北陸コンサルタント(株)   |
|             | 委員長 | 新 家 久 司 | (株)国土開発センター    |
|             | 委 員 | 高 嶋 智 晴 | (株)国土開発センター    |
|             | 委 員 | 長 森 孝 司 | (株)日本海コンサルタント  |

| 総 括 部 会 |  |         |                |
|---------|--|---------|----------------|
| 部 会 長   |  | 青 木 和 之 | エヌシーイー(株)      |
|         |  | 佐 藤 浩   | (株)開発技術コンサルタント |
|         |  | 大 浦 淳   | 大日本コンサルタント(株)  |
|         |  | 浦 正 光   | (株)日本海コンサルタント  |
|         |  | 西 潟 常 夫 | (株)キタック        |

|  |  |         |         |
|--|--|---------|---------|
|  |  | 間 瀬 義 昭 | 開発技建(株) |
|  |  | 高 野 一 博 | 大原技術(株) |

| 技 術 部 会       |     |         |                  |
|---------------|-----|---------|------------------|
| 部 会 長         |     | 横 山 徹 成 | 開発技建(株)          |
| 道 路 委 員 会     | 委員長 | 渡 邊 雅 樹 | 開発技建(株)          |
|               | 委 員 | 木 村 浩   | エヌシーイー(株)        |
|               | 委 員 | 首 藤 直 樹 | (株)クリエイトセンター     |
|               | 委 員 | 平 岸 純   | (株)国土開発センター      |
|               | 委 員 | 古 池 豊   | 大日本コンサルタント(株)    |
|               | 委 員 | 藤 本 勇 一 | (株)東洋設計          |
|               | 委 員 | 神 田 和 久 | 開発技建(株)          |
| 橋 梁 委 員 会     | 委員長 | 渡 辺 正 三 | 大日本コンサルタント(株)    |
|               | 委 員 | 近 藤 治   | 開発技建(株)          |
|               | 委 員 | 渋 木 薫   | エヌシーイー(株)        |
|               | 委 員 | 大 竹 滋   | (株)キタック          |
|               | 委 員 | 南 雲 浩   | (株)構造技研新潟        |
|               | 委 員 | 笹 谷 輝 彦 | (株)国土開発センター      |
|               | 委 員 | 小 原 隆 一 | (株)東洋設計          |
|               | 委 員 | 寺 田 直 樹 | (株)開発技術コンサルタント   |
| 河川及び砂防委員会     | 委員長 | 涌 井 正 樹 | (株)キタック          |
|               | 委 員 | 永 矢 貴 之 | (株)建設技術研究所       |
|               | 委 員 | 亀 田 満   | (株)国土開発センター      |
|               | 委 員 | 佐 藤 裕 司 | 五大開発(株)          |
|               | 委 員 | 岡 田 和 美 | 大日本コンサルタント(株)    |
|               | 委 員 | 須 田 玲   | エヌシーイー(株)        |
|               | 委 員 | 木 村 幸 雄 | 開発技建(株)          |
|               | 委 員 | 小 柳 徹   | (株)キタック          |
|               | 委 員 | 金 子 幸 生 | 相互技術(株)          |
| ト ン ネ ル 委 員 会 | 委員長 | 桐 沢 芳 広 | (株)オリエンタルコンサルタンツ |
|               | 委 員 | 今 度 充 之 | 東京コンサルタンツ(株)     |
|               | 委 員 | 小 林 博 実 | エヌシーイー(株)        |
|               | 委 員 | 麻 田 正 弘 | アルスコンサルタンツ(株)    |
|               | 委 員 | 平 野 吉 彦 | (株)キタック          |
|               | 委 員 | 雪 田 真 吾 | サンコーコンサルタント(株)   |
|               | 委 員 | 辻 本 勝 彦 | (株)国土開発センター      |
| 都 市 計 画 委 員 会 | 委員長 | 小 見 直 樹 | エヌシーイー(株)        |
|               | 委 員 | 佐 藤 吉 一 | 開発技建(株)          |
|               | 委 員 | 莊 司 洋 文 | (株)キタック          |
|               | 委 員 | 新田川 貴 之 | (株)国土開発センター      |
|               | 委 員 | 酒 井 信 次 | 大日本コンサルタント(株)    |
|               | 委 員 | 埴 正 浩   | (株)日本海コンサルタント    |
| 建 設 環 境 委 員 会 | 委員長 | 佐 藤 朗   | 開発技建(株)          |
|               | 委 員 | 稲 葉 弘 之 | アルスコンサルタンツ(株)    |
|               | 委 員 | 若 尾 明 弘 | エヌシーイー(株)        |
|               | 委 員 | 高 田 弘 幸 | 大日本コンサルタント(株)    |

|         |     |         |                |
|---------|-----|---------|----------------|
|         | 委 員 | 西 暢 人   | (株)日本海コンサルタント  |
|         | 委 員 | 藤 本 隆 則 | (株)キタック        |
|         | 委 員 | 平 野 博 範 | (株)国土開発センター    |
| 品質向上委員会 | 委員長 | 真 嶋 利 寿 | エヌシーイー(株)      |
|         | 委 員 | 清 原 宏 二 | 開発技建(株)        |
|         | 委 員 | 森 将 恒   | (株)キタック        |
|         | 委 員 | 大 越 敏 行 | 大日本コンサルタント(株)  |
|         | 委 員 | 若 林 修   | 東京コンサルタンツ(株)   |
|         | 委 員 | 野 村 尚 樹 | (株)日本海コンサルタント  |
|         | 委 員 | 山 森 茂 明 | (株)クリエイトセンター   |
|         | 委 員 | 高 橋 辰 夫 | (株)開発技術コンサルタント |
| 情報委員会   | 委員長 | 樋 浦 慎   | 開発技建(株)        |
|         | 委 員 | 内 山 徹   | エヌシーイー(株)      |
|         | 委 員 | 島 健     | (株)キタック        |
|         | 委 員 | 大 関 一 成 | (株)クリエイトセンター   |
|         | 委 員 | 湯 川 幹   | (株)国土開発センター    |
|         | 委 員 | 野 入 英 明 | 大日本コンサルタント(株)  |

|           |     |         |                  |
|-----------|-----|---------|------------------|
| 広 報 部 会   |     |         |                  |
| 部 会 長     |     | 齋 藤 真 晴 | 開発技建(株)          |
| 広 報 委 員 会 | 委員長 | 佐々木 大 介 | (株)ナルサワコンサルタント   |
|           | 委 員 | 浜 辺 良 彦 | 相互技術(株)          |
|           | 委 員 | 澤 田 伸 也 | 大日本コンサルタント(株)    |
|           | 委 員 | 瀧 上 彰   | アルスコンサルタンツ(株)    |
|           | 委 員 | 佐 復 正 典 | (株)建設技術研究所       |
|           | 委 員 | 新 川 行 男 | (株)国土開発センター      |
|           | 委 員 | 吉 橋 章   | パシフィックコンサルタンツ(株) |
|           | 委 員 | 大 蔵 欣 司 | (株)建成コンサルタント     |
|           | 委 員 | 川 本 勝 之 | 開発技建(株)          |
|           | 委 員 | 今 野 健   | エヌシーイー(株)        |
|           | 委 員 | 佐 藤 洋 子 | (株)構造技研新潟        |
|           | 委 員 | 中 島 亮 子 | 開発技建(株)          |
|           | 委 員 | 佐 藤 恵   | 相互技術(株)          |
| 会誌編集委員会   | 委員長 | 須 藤 勝 彦 | (株)国土開発センター      |
|           | 委 員 | 猪 俣 孝 之 | 大日本コンサルタント(株)    |
|           | 委 員 | 齋 藤 浩 幸 | (株)キタック          |
|           | 委 員 | 熊 倉 孝 次 | (株)クリエイトセンター     |



## 編集後記

広報誌「雪の音」がVol.115（平成24年6月15日発行）からカラー印刷での発行に変わり、今回発行のVol.118でまる一年になります。

カラー印刷に変わり、特集記事などの写真が鮮明になり、見やすくそして迫力もでてきているのではないのでしょうか。今回のカラー化は読者の皆様からのご好評をいただいているようです。

これからも、「雪の音」を皆様に長くご愛読していただけるように、創意工夫し、頑張っていこうと思っています。

齋藤 浩幸

---

---

### 雪の音 Vol.118

発行 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会  
北陸支部

〒950-0965

新潟市中央区新光町6番地1  
(興和ビル)

TEL(025)282-3370・FAX(025)282-3371

会誌編集委員会

委員長 須藤 勝彦

委員 齋藤 浩幸 猪俣 孝之

熊倉 孝次

印刷 (株)第一印刷所

---



発行：一般社団法人建設コンサルタント協会北陸支部  
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル  
TEL (025) 282-3370 FAX (025) 282-3371